

第一生命経済研レポートテーマ（2004年8月～9月）

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| <p>2004年8月号 (通巻89号)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・よくわかる経済指標 ・よくわかる年金 ・産業トレンド ・セクター分析 | <p>バブル崩壊により残されたもうひとつの課題 日本経済 ～ 年後半景気減速の確度高まる～ 米国経済 ～ F R Bの巧みな金融戦術～ 日米経済の現状と6ヶ月後の方向性 貸出統計に起こっている変化 あなたはどこに軸足をおきますか 冷夏の反動が日本経済に思わぬ追い風 ～ 94年並みの猛暑になれば、今年度の実質GDPを2兆円押し上げ～ 外国人の不法就労が日本経済に及ぼす影響 ～ 実質GDP成長率を 0.06%p押し下げ～ 「日銀短観」 公的年金の基本と2004年制度改正（その4） 日本の鉄鋼産業の現状 産業別利益動向</p> |
| <p>2004年9月号 (通巻90号)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・よくわかる経済指標 ・よくわかる年金 ・産業トレンド ・セクター分析 | <p>少子化対策へ、ひとつのブレークスルー 日本経済 ～ 最大のリスクは「予想以上の成長」がもたらす気の緩み～ 米国経済 ～ 消費が緩やかな伸びにとどまるリスク～ 日米経済の現状と6ヶ月後の方向性 原油価格上昇の背景と持続性 中小非製造業の回復はいつ？ 雇用環境改善とは言いきれない失業率低下 ～ 労働力率の低下により 0.6%ポイントも押し下げ～ 7月景気ウォッチャー調査 ～ 猛暑やメガバンク再編は良いことばかりではない？ 「鉱工業生産」 公的年金の基本と2004年制度改正（その5） 新しい構造変化に突入したソフトウェア業界 産業別利益動向</p> |

編集後記

10月といえば、やはり「体育の日」。ご存知の通り、この体育の日が制定されたのは昭和41年。2年前の昭和39年に日本で初めて開催された五輪大会、東京オリンピックの開会式が行われた日を記念して「国民の祝日」となった。大切なオリンピックの開会式をこの10月10日という日に決めたのは、日本の観測史上最も晴れる確率が高かったからだそうで、この特異日は今でも続いているらしい。体育の日＝10月10日というイメージが強いが、連休を少しでも増やそうという事情から、2000年から10月の第2月曜日に変更されている。この体育の日の前後には、日本中の幼稚園や学校で秋の大運動会が開かれる。もともと運動会という学校行事は、明治の初期、文明開化の時に持ち込まれたようで、明治7年の海軍兵学校で行われたのが日本で最初の運動会とされているようだ。当初は軍事的な色彩が強かったが、明治も終わりの頃になると、家族はもちろん、地域をあげてのお祭りのな行事になったようだ。

平成の運動会事情といえば、お父さんにとっては、いかにビデオ撮りに良い場所を取るか 接待ゴルフの時よりも早起きする緊張の朝であり、お母さんにとっても お友達の家におかずの種類で負けないよう、暗いうちから弁当作りの戦場が始まる。筆者もディズニーランドのパレード1列目取りで培ったノウハウを生かしてビデオ場所取りに走る口だが、最近は何か物足りなさが残る。おそらく、ビデオレンズを通じてわが子の姿を追うのに懸命で、自分の目で見えていないからだろう。大人になってから懐かしく見る映像作りも確かに大切だが、リアルタイムで子供の成長を記憶することはもっと重要なのでは。

(N.I.)